

コストを下げる業務効率化のプロフェッショナル

年間700万円超の人員費抑制を実現した事例も コストを削減し成長を加速する 新常識「精算業務IT化」の実力

いま、経費精算業務のIT化に踏み切る中小・ベンチャー企業が急増しているのをご存じだろうか。さまざまな企業向けクラウドサービスを展開するラクスの市場調査によれば、2013年に経費精算業務のIT化を果たした会社は前年より1.5倍以上も増えているのだ。なぜ経費精算業務のIT化が急がれているのか。クラウド型経費精算システムのパイオニアであるラクス代表の中村氏に、その理由や導入メリットなどを聞いた。

社員数が200名に倍増しても 経理スタッフ2名を維持

「なぜ、経費精算業務のIT化に踏み切る中小・ベンチャー企業が急増しているのですか。」

IT化により、紙・Excelでの経費精算につきものだった多くのムダな作業を効率化できるためです。

従来のように紙・Excelで営業スタッフなどの社員が交通費を精算する場合、交通機関の運賃をネットなどで調べ、それを1件1件、所定の書式に転記して上司に申請。上司は申請内容を確認・捺印して経理に回し、経理担当は、申請内容に誤りがないか、定期区間が

控除されているかなどをチェック。勘定科目への仕訳、会計ソフトへの入力などを手作業で行います。

このように、アナログな方法で精算している限り、定型的なデータ入力や確認など、コストがかかる大量の単純作業が発生します。

ここにIT投資を行い、経費精算システムを導入すれば、業務の効率化が実現でき、人件費の抑制もはかれます。そのことに気づいた中小・ベンチャー企業の間で経費精算業務のIT化が活発化しているのです。

実際、当社が提供しているクラウド型経費精算システム『楽楽精算』は、従業員30〜300人規模の企業を中心

に、すでに400社4万人以上が利用しています。

「どの程度のコスト削減ができるのですか。」

当社の事例をお話ししましょう。従業員数が増えるにつれ、紙やExcelによる経費精算の業務負担も増大。そのため、『楽楽精算』の原型にあたる経費精算システムを自社開発して導入しました。すると、管理部門の業務負担が劇的に軽減されただけでなく、人件費換算で従業員数100人の際に月間30万円以上、年間では400万円超のコスト削減を実現しました。

この経費削減効果は、従業員規模が拡大するにつれてより大きくなります。当社の人員が200人に増えた際は、月間約60万円、年間では700万円超の削減効果にも達しました。しかも、社員数が100人から200人に倍増しても経理スタッフは、2名をキープ。通常は会社の成長と比例して増大するはずの管理部門の人件費も抑制できました。

20〜30名規模の企業にも 導入メリット

「数十名規模の企業にも、導入メリットはありますか。」

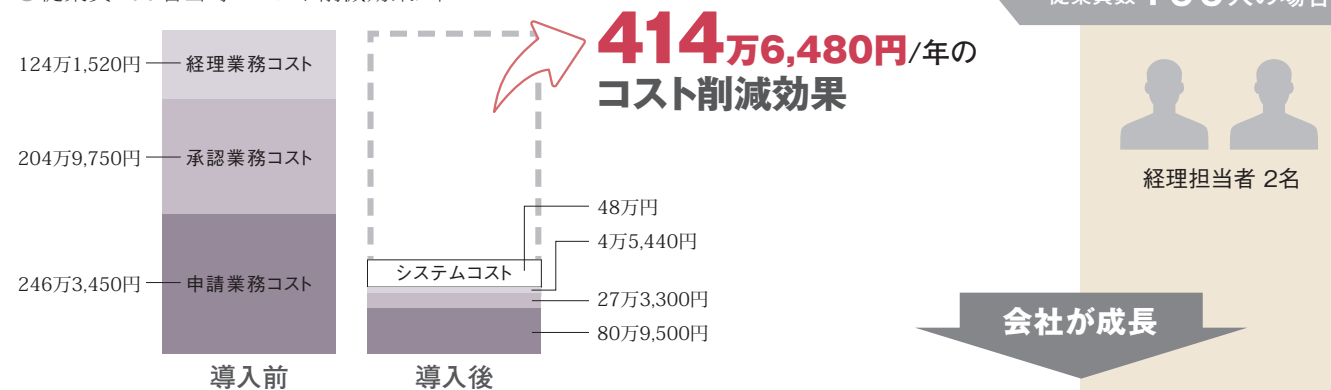
社員20〜30名規模の中小・ベンチャー企業の場合、「コア業務に集中し、成長スピードを加速させるため、人材を精算業務の単純作業から解放したい」との理由で『楽楽精算』を導入するケースが多いです。

実際、経費精算のような単純作業をシステムに任せれば、全ての社員が本業により集中できる環境が整備できます。例えば、営業スタッフは申請作業の時間短縮で、営業活動に集中でき、管理職は承認作業の負担軽減により、本来の仕事である戦略立案に集中できま

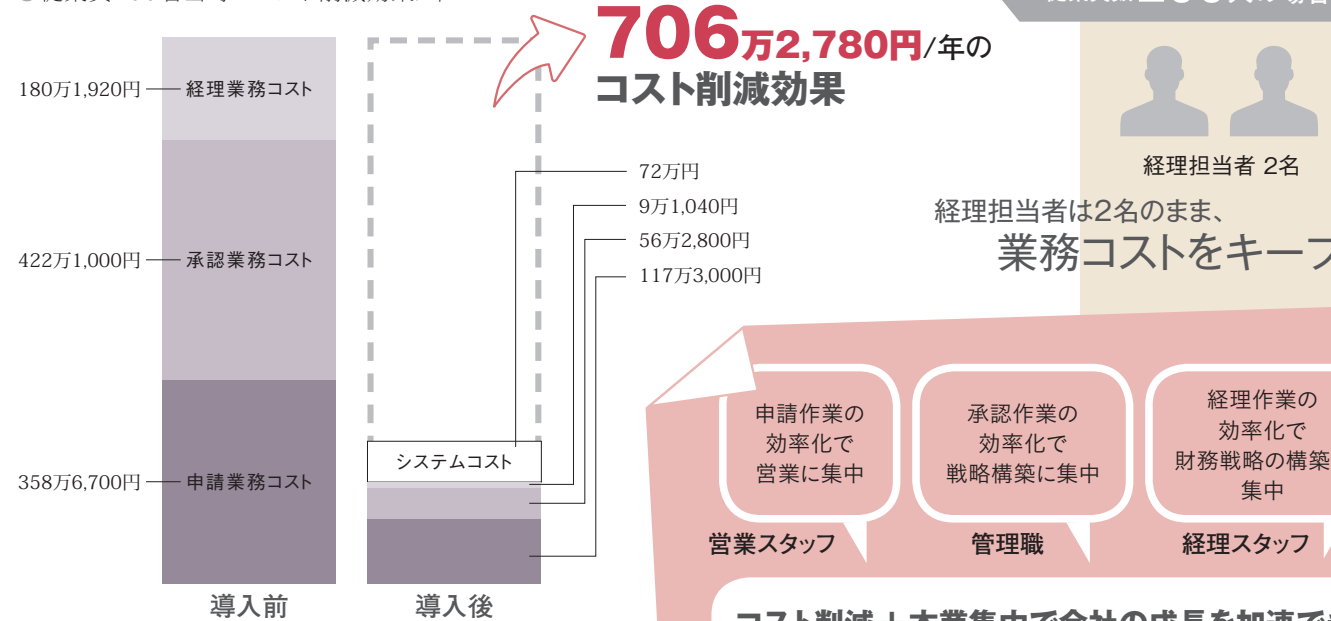
『楽楽精算』導入前と導入後の試算比較

経費精算業務のIT化で経営コストの大幅削減が可能

●従業員100名当時のコスト削減効果/年



●従業員200名当時のコスト削減効果/年



※株式会社ラクスでの実際の社員数増加に伴うコスト変遷をもとに試算

『楽楽精算』の資料請求・無料お試しなどのお問い合わせはコチラから

☎03-6675-3631 (平日9:30~18:00)

✉rakurakuseisan@rakus.co.jp

「楽楽精算」の料金体系(税抜き)

初期費用10万円 月額料金3万円~

くわしい内容はコチラから

楽楽精算 検索

http://www.rakurakuseisan.jp/

「コスト削減や企業成長に課題を抱えている経営者にアドバイスをお願いします。」

単純作業から付加価値は生まれません。しかし、経費精算システムはコスト削減を図るだけでなく、社員を単純作業から解放。本業に集中する時間が増えるため、結果として会社の成長力向上につながります。『楽楽精算』は無料のお試しもありますので、気軽にお問い合わせください。

これからも中小・ベンチャー企業の成長に貢献するサービスを提供していきたいですね。



ラクス 代表取締役
中村 崇則
なかむら たかのり

1973年、山口県生まれ。1996年に神戸大学経営学部経営学科を卒業し、日本電信電話株式会社(NTT)入社。NTT在籍中、無料メールリストサービスを展開する合資会社DNSを設立。2000年、株式会社インフォキャストに改組。同年のインフォキャストの楽天株式会社への完全子会社化を機に、ITエンジニアの育成を事業とする株式会社アイティーブーストを設立し、代表取締役に就任。2010年1月、株式会社ラクスに社名変更。クラウドコンピューティングを活用したリスナブルなクラウドシステムを多くの中小企業に提供している。